

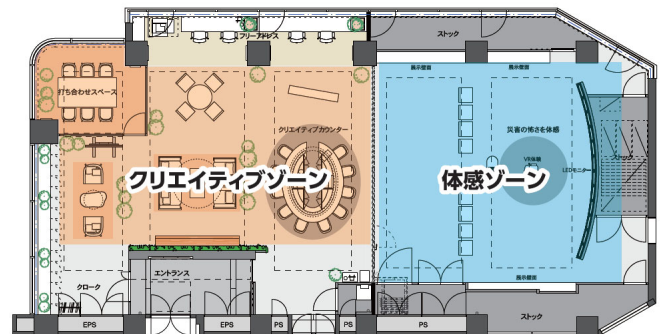
**“火災”から“災害全般”へ事業領域の拡大を目指す拠点として
新施設「能美防災コミュニケーションスペース meeet」を開設**

能美防災株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長：岡村武士／資本金：133 億 2 百万円、東証プライム上場）では、グループ全体の中長期ビジョンステートメントに「“期待の先”にある安全をカタチに」を掲げており、また、昨今の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえて、“火災”から“災害全般”へ事業領域を拡大させることを目指して、さまざまな取り組みを進めてきました。このような取り組みを今後もさらに強化・推進していくために、その拠点となる新施設「能美防災コミュニケーションスペース meet（み・いーと）」を東京・港区芝に開設しました。

■施設コンセプト・ゾーニング

- ①さまざまな災害の怖さと新たなソリューション等の“体感”
②“自由な発想・対話”を生み出す空間

さまざまな人とともに、体験・学び・対話を重ねることによって、次世代のふせぐ・まもる・そなえる…を構想し、新たな取り組みを生み出し、広げていくことができるよう、大きく「体感ゾーン」と「クリエイティブゾーン」の2つで構成しています。



■施設名称

“火災”以外の災害に対する取り組みにチャレンジしていくためには、さまざまな災害・防災に関する知見を持った方々とのネットワークを拡充していく必要があります。そこで、「出会い」を想起させる「meet」という言葉をベースに据え、施設のテーマである

「experience（体験・経験）」

「educate (学び・教育)」

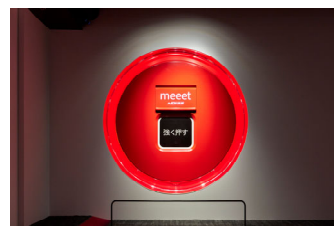
「expand (広がり)」

の頭文字「e」を重ね合わせた、「meeet（み・いーと）」という造語を施設名称に据えています。



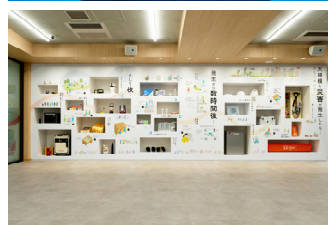
■エントランス

火災に対する設備面での取り組みを主としてきた“これまで”と、火災以外の災害に対する取り組みにもチャレンジする“これから”の境目として位置づけ、エントランス内に当社の代表的な製品である「リング型表示灯付発信機」を、直径 1.8mの大きさで再現して配置。さらに、来場者の高揚感を醸成する映像と音声による仕掛けが施してあります。



■体感ゾーン

- ①大型 LED ディスプレイや照明・音響装置の掛け合わせにより、プレイヤーとギャラリーが一体となった没入感のある VR 災害体験が可能です。
- ②壁面に施した災害シーンのグラフィックと災害備蓄品の実物を展示しています。さらには、一般的な防災関連施設では展示に止まる中、使用感の確認も可能なスペースにしています。



■クリエイティブゾーン

創造性の発揮を促す、緑豊かな空間デザインと環境音の掛け合わせ、さらには両ゾーンをつなぎ、コミュニケーションを深める場としての機能を有したカウンターを配置しています。また、社員がサテライトオフィスとして利用することも想定したスペースと、各種備品を充実させています。



■施設情報

東京都港区芝 3-1-15 芝ポートビル 2 階 （最寄駅：都営大江戸線「赤羽橋」より徒歩 1 分）

※当施設は予約制のため、見学・利用にあたっては弊社担当者へご連絡願います。

■本件に関する問い合わせ先

能美防災株式会社 特販事業部 担当：佐々木 (a_sasaki@nohmi.co.jp)

広報室 担当：木下 (y_kino@nohmi.co.jp)

以 上